

第4回総合戦略会議要旨

プロジェクト名	整理番号
令和元年度第4回八百津町総合戦略会議	
【出席者】*敬称略	会議日時
委員 10名（桑原委員の代理として小林様出席） 八百津町役場 総務課課長以下4名	令和2年2月27日（木） 19:00～20:00
【ぎょうせい】	協議場所
研究員：後藤 東海支社：野口	八百津町役場防災センター 2階

推進委員会における決定事項等
<p>【第4回総合戦略会議要旨】 以下のとおり第4回総合戦略会議を実施。</p> <p>■資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1 令和元年度八百津町総合戦略会議委員からの意見及び事務局の考え方（追加） ・資料2 5年度の数値目標及びKPIの設定根拠 ・資料3 八百津町人口ビジョン（案） ・資料4 第2期八百津町 まち・ひと・しごと創生総合戦略（案） ・資料5 八百津町まち・ひと・しごと創生総合戦略 基本目標とSDGs17のゴールとの関係一覧（仮） <p>■主な協議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 株式会社十六銀行八百津支店長桑原様欠席のため支店長代理の小林様代理出席。 2. 副町長あいさつ <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスについて県の基本方針がでた、3月15日までイベント・行事を原則中止・延期となるためご理解を賜りたい。 ・当初予算について一般会計58億4600万円、前年比マイナス4%、2億4200万円減。 ・6次行財政改革大綱について、3回審議を行い現在パブリックコメント中。 3. 数値目標及びKPIの設定根拠について。 <ul style="list-style-type: none"> ・資料2に基づいて事務局より説明。 数値目標設定根拠について理由付けが大切という意見をうけ、事業課に数値目標及び根拠を再度確認。必要施策は経年変化し長期的目標を立てにくいものがあるため現状以上を目指すものや1割2割向上を目指すものが多い。 <p>【質疑応答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・杉原千畝タクシーはデマンド型の交通とは関係はないのか。（委員） ⇒また別にある、指標面には八百津東部地区デマンド型交通となっているが潮南地区と八百津地区の交通について記載している。（事務局）

⇒杉原千畝タクシーは引き続き指標面にあがっていないが継続と解釈して良いか。(委員)

⇒タクシーについては観光シャトルタクシーという名目でやっている。土日はコミュニティバスがないので記念館まで足がない。今年の秋よりオンデマンド交通をやっている、基本的には別物。(事務局)

・数値根拠が難しいのは理解しているが目標数値がこうしていくべきだという気合や魂が散りばめられていると良いなと思う。パパママ教室の参加率、乳幼児学級教室参加率に関しては段階的に進んでおり目標に向けてやっているなど分かる、そのようなものが書けると、町としてのビジョンが見える。(委員)

・防災ワークショップについて、例えば防災リーダーを各地区1名以上つくるために、ワークショップ参加者数の答えは100で良いと思うが、言い方、示し方のようなものがあれば良かった。(委員)

⇒全ての自治体に参加いただくことは重要だと考えているが80の自治会の中には4世帯しかなく高齢課著しい自治会などもある、達成困難であること勘案し今回はこの目標の設定にした。(事務局)

⇒今後工夫ができればお願いしたい。(委員)

⇒八百津町は6地区に大きく分かれるので代表の方にていただくことも検討していく。(事務局)

4. 八百津町人口ビジョン素案について

・資料3に基づき事務局より説明。

・将来人口について30,31頁の試算ケースを記載したい。

30頁：社人研推計結果、何もしなければ3,599人となる。

31頁：社会情勢を鑑みて合計特殊出生率について社人研推計結果2025年1,39%、2060年1,42%を使う。積極的な移住促進施策により2010年の水準である約5,000人に維持できる内容に改定。

【質疑応答】

・他の表に関しては前回と大きく変わらないか。(委員)

⇒発表した推計値以外は前回の人口ビジョンに5年間の兆候を捉えた内容になっている。

・人口については勝手に伸ばすわけにはいかないのでそれをさせないために何とかしなければならぬ警鐘を鳴らす資料として受け取った。(事務局)

・数値については了承した、各自治体の合計特殊出生率が下から数えた方が早い。他の市町村、例えば郡上、瑞穂、下呂、岐南町など他自治体の施策の検証も大事だと感じる。(委員)

⇒一概には言えず多くの要因があるが参考にさせてもらうところは検証する。

良い数字ばかりあげるよりも現状を知っていただく意味もある。提示した数値もハードルが高いと感じている。(事務局)

5. 第2期八百津町まち・ひと・しごと創生総合戦略の素案について

・資料4に基づき事務局より説明

【質疑応答】

・SDGsの位置づけについて、八百津町の独自のものなのか。(委員)

⇒必ず記載しなければならないものではないが県においても推進している、新たな視点として加えられているものなので記載していく。（事務局）

・素案 10 頁、KPI の目標%についての数値根拠はあるか。（委員）

⇒第 2 回会議配布資料において、全体の事業数に対する達成・未達成を記載している。（事務局）

・結果に対するコメントや公表などはあるか。（委員）

⇒素案には記載していない、理由などは各担当課見直しなどを行っている。

⇒第 1 期の評価をもって第 2 期につながっていくストーリーであるならばその繋ががあってもよいのかと感じる。事業評価について評価 1、2 についてはこれについて素案内にサンプルはつくか。（委員）

⇒修正対応する。（事務局）

・パーセンテージに対する自己評価、大きな数字に対するコメントがあると読み進め易いと思う。（委員）

・高齢者に対する施策が薄いと感じる、団塊世代は元気な方が多い、75 歳以上も働けるなど何らかの形でそういった方向にもってける施策があると良いと感じた。（委員）

⇒女性活躍、高齢者活躍を記載できないか事務局で検討した。地域公共交通を重要施策として記載、ドライバーは定年退職されたが現役並に働いていただけの方がたくさんいらっしゃると思うので計画には記載していないが今後みんなが活躍できる取り組みを考えていきたい。（事務局）

【事務連絡】

- ・意見を反映した修正を実施してパブリックコメント手続き。
- ・町長答申については会長にお願いする。
- ・完成した総合戦略・人口ビジョンは後日郵送。

5. 閉会

以上